

## 令和2年度 事業報告(公益)

### I 事業の総括

令和2年度、本会は、1 生涯スポーツ社会の実現、2 競技力の向上、3 次代の健全育成という三つの基本方針の下、加盟団体及び関係機関・団体と連携協力し、公益4事業、収益2事業及び本会運営事業を積極的に推進する計画としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種事業の中止、事業規模の縮小など、大きな影響を受けた。

**公益1**＝生涯スポーツ振興事業では、総合型地域スポーツクラブに関する諸事業を通じてスポーツの魅力を発信するとともに、一般社団法人彩の国SCネットワークと連携し、総合型地域スポーツクラブの活動内容や経営安定の充実に努めた。

また、生涯スポーツの更なる普及・充実に図るため、生涯スポーツ地域振興助成事業や指導者養成事業などは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業規模の縮小を余儀なくされた。

**公益2**＝競技力向上事業では、「国民体育大会埼玉県選手強化5か年計画」のもと、第75回国民体育大会に臨む計画であったが、国民体育大会史上初の延期という結果となった。また、1月・2月の第76回国民体育大会冬季大会のうち、スキー競技会についても、同様の理由により中止となった。

また、将来を担うジュニア育成補助事業では、プラチナキッズ発掘育成事業とジュニアアスリートアカデミー事業等との連携強化、競技力向上をサポートするための「彩の国アスリートサポートパートナーシップ制度」の構築と、強化支援の充実に努めた。

**公益3**＝スポーツ少年団事業では、東日本大震災復興祈念事業をはじめ、県・関東・全国等大会が新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての事業が中止となった。

また、スポーツ少年団指導者制度の廃止に伴い、日本スポーツ協会の指導者制度で新設された「スタートコーチ」の養成講習会の中止をはじめ、指導者資質向上のための各種研修会も中止となった。

県内の種目別交流大会においては、中央競技団体発出のガイドラインを基に新型コロナウイルス感染症の予防策を講じた種目のみの開催となった。

**公益4**＝スポーツ総合センター運営事業では、埼玉県の要請を受け、インターネットカフェ難民の受入を行った。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、手洗い場の新設、サーモグラフィーの設置、手指消毒の徹底等を図ったが、2度の緊急事態宣言等の影響から、利用者が減少、とりわけ宿泊利用者は大幅な減少となった。

**収益1**＝大宮公園スポーツランドの運営は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少となったが、年明けから年度末にかけては、利用者や収入が回復する兆しがあった。

**収益2**＝埼玉アイスアリーナの管理運営は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少。

## Ⅱ 事業報告

### 公益 1 生涯スポーツ振興事業

#### 1 総合型地域スポーツクラブの育成推進

【内容】埼玉県と連携・協力して、地域住民による自主的、主体的な総合型地域スポーツクラブの組織化を図るため次の業務を実施した。

(1) クラブアドバイザーの配置(2名)

総合型地域スポーツクラブの設立や活動及び事務・経理処理等クラブ運営全般について指導・助言ができる者を配置した。(日本スポーツ協会の有資格者等)

(2) 広域スポーツセンター機能推進業務

主に総合型地域スポーツクラブに興味をもち、立ち上げようとしている人やスポーツクラブ等からの電話及び来所相談に対し専門的な助言を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等の要請に応じて会議等に出席し、専門的な助言を行うなどの業務を実施した。

また、総合型地域スポーツクラブ等の活動状況について適宜把握し、総合型地域スポーツクラブの活動実態に関する調査を行った。

ア 総合型地域スポーツクラブ等運営活動支援

(ア) 設立済市町村に対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕 設立済の市町村のスポーツ関係担当者等に対し、説明会や会議で、総合型地域スポーツクラブの意義や必要性等を説明した。併せて説明会の出席者等からクラブ設立に必要な情報を収集した。

〔実施回数〕 延べ12回(5市)

〔実施会場〕 さいたま市、所沢市、三郷市、川越市、春日部市が定めた場所及びクラブが指定した会場

〔参加者〕 延べ17名(行政関係者及びクラブづくりに意欲のある者)

〔経費〕 受取参加料：無料

派遣等にかかる費用：無料

(イ) 総合型地域スポーツクラブに対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕 クラブアドバイザーの指導・助言を経て設立した総合型地域スポーツクラブの活動状況や運営状況など現地ヒアリングを行い、一層の活性化を図るため指導・助言を行った。

〔実施回数〕 延べ13回

〔実施会場〕 各クラブのクラブハウスや公共施設等

〔参加者〕 延べ22名(クラブの運営に関わる者)

〔経費〕 受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(ウ) 総合型地域スポーツクラブを目指す団体に対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕 クラブアドバイザーがクラブ運営の指導・助言を行い、令和2年度は新たに4クラブが設立された。

・一般社団法人 Learn and Grow(川越市)

- ・所沢ファルゴランテ(所沢市)
- ・一般社団法人エムズエイティーン(三郷市)
- ・一般社団法人レッズランド(レッズランドスポーツクラブ)(さいたま市)

〔実施回数〕 延べ11回(4クラブ)

〔実施会場〕 各クラブのクラブハウスや公共施設等

〔参加者〕 延べ16名(クラブの運営に関わる者)

〔経費〕 受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(エ) 総合型地域スポーツクラブ活性化助成事業

〔事業内容〕 県内総合型地域スポーツクラブが、通常行われているスポーツ教室等の事業ではなく、部活動連携支援・介護支援等の地域支援に関わる事業を実施した。

〔実施期日〕 令和2年7月1日(水)～令和3年3月31日(水)

〔実施会場〕 白岡市立菁莪中学校校体育館 他

〔参加者〕 5クラブ 延べ1966名

(オ) 一般社団法人彩の国SCネットワークの活動支援

県内の総合型地域スポーツクラブ相互の連携及び親睦、情報交換を図ることで、地域スポーツの活性化及び生涯スポーツの振興に貢献することを目的に設置された一般社団法人彩の国SCネットワークに対し、運営における指導・助言を行った。

・総会の開催

〔実施期日〕 令和2年6月20日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者〕 21クラブ 28名

〔経費〕 受取参加料：無料

・ステップアップ研修会

総合型地域スポーツクラブの運営を円滑に進めるため、クラブマネージャー及び事務局スタッフ等の資質向上を図ることで、持続可能な運営体制を構築する機会を提供できた。

〔実施時期〕 令和2年12月5日(土)、令和3年3月15日(月)(計2回)

〔実施会場〕 川口総合文化センター・リリア、スポーツ総合センター

〔参加者数〕 延べ30名

〔経費〕 開催経費：講師謝金

受取参加料：(一社)彩の国SCネットワーク会員 無料

・クラブマネージャーのための研修会

〔実施時期〕 令和3年3月5日(金)～3月7日(日)(計3回)

〔実施会場〕 on-line

〔参加者数〕 延べ28名

(カ) 子どもの運動不足解消のための運動機会創出プラン

アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を活用した運動遊び促進事業

〔事業内容〕 日本スポーツ協会が推進するアクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を活用し、運動遊びを促進し、身体を動かすことの楽しさを体験する機会

を提供した。

〔実施時期〕 令和2年8月1日(土)～12月12日(土)

〔実施会場〕 熊谷ラグビー場 他

〔参加者数〕 一般社団法人彩の国SCネットワーク 他14クラブ 延べ3,345名

〔経 費〕 公益財団法人日本スポーツ協会委託金

イ 総合型地域スポーツクラブ活動実態調査の実施

〔事業内容〕 県内の総合型地域スポーツクラブの活動状況や課題等を把握し、今後の育成推進や活動支援に資するため、書面及びクラブを訪問しての概要調査を行った。

〔対 象〕 96クラブ

ウ 総合型地域スポーツクラブ連絡会議の実施

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの自立と安定した運営のために質的充実を目的とした連絡会議を開催し、クラブへの情報提供及び課題解決に向けた具体的な取り組み事例等について情報共有を行い、クラブ間ネットワークの促進と連携体制の構築を図った。

〔実施時期〕 令和2年9月27日(日)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者数〕 31クラブ39名

〔経 費〕 受取参加料：無料

(3) 広報活動

ア 総合型地域スポーツクラブに係わる情報提供

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報を基に、各クラブの他、行政担当者やマスメディアなど随時情報提供を行った。

イ ホームページの掲載・更新

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報やクラブ作りのノウハウを本会ホームページに掲載・更新を行った。

ウ 広報啓発用パンフレット等の作成

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブ広報啓発用パンフレットの作成を行った。

〔作成部数〕 広報用パンフレット30,000部、登録認証制度チラシ30,000部

〔主な配布場所〕 市町村、総合型地域スポーツクラブ、教育事務所 等

〔費用〕 印刷製本費、通信運搬費

**2 生涯スポーツ地域振興助成事業の実施〔助成(補助)事業〕**

〔実施内容〕 県内広域地区の各種スポーツの振興を図るため、二市町村以上の団体の交流事業に助成(補助)をした。

〔実施時期〕 令和2年9月6日(日)から令和3年3月22日(月)

〔実施会場〕 吉川市総合体育館他

〔参加者〕 21市町 5事業 1,441名

〔経 費〕 助成金額(総額)：335,706円

※一部、新型コロナウイルス感染症予防対策により事業規模縮小での開催

### 3 市町村体育・スポーツ協会連絡会議の開催

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔事業内容〕 地域における生涯スポーツの振興を図るため、市町村体育協会・スポーツ協会との意見・情報交換を行うとともに、関係機関・関係者との連携を図った。

### 4 日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会の開催 〔委託事業〕

〔事業内容〕 県内各地域において、スポーツ教室等で指導をする人材を養成する。

(1) コーチ2：共通科目 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(2) コーチ2：専門科目0 競技

ア 空手道 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(3) コーチ1：専門科目1 競技

ア バレーボール(委託事業) 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

イ バドミントン(委託事業)

〔実施期間〕 令和2年10月24日(土)～25日(日) 〔参加者数〕 13名

〔受講対象〕 原則として、指導員18歳以上。※競技毎で別に定める。

〔経 費〕 支払参加料(個人負担：全競技共通)

コーチ1 共通科目：NHK学園(通信講座)へ直接払い

専門科目：日本スポーツ協会へ取り纏めて支払

### 5 県民総合スポーツ大会及び埼玉県駅伝競走大会の実行委員会の設置と支援

〔事業内容〕 埼玉県スポーツ振興計画が掲げるスポーツへの県民の多様な関わり方、「する」、「みる」、「きわめる」、「まなぶ」、「ささえる」ことを実践・体感する機会づくりを全県的に取り組むために、埼玉県、埼玉県教育委員会及び関係団体とともに実行委員会を設置し、企画・運営に参画し資金の提供を行なった。

(1) 令和2年度第33回県民総合スポーツ大会の開催

「埼玉県実行委員会」

埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人埼玉県スポーツ協会、特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会、埼玉県スポーツ推進委員協議会、各市町村、各市町村教育委員会、各市町村体育・スポーツ協会、各市町村レクリエーション協会、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

〔実施時期〕 通年(参加する団体の大会全てが県民総合体育大会の一部となります)

〔参加人数〕

ア 競技部門 298 大会 172,297 名

・本会加盟競技団体・県高等学校体育連盟大会・県中学校体育連盟大会・県高等学校野球連盟大会・県スポーツ少年団大会・特別支援学校大会・ふれあいピック大会・障害者スポーツ大会関係団体

イ コミュニティー部門 72 大会 20,616 名

ウ レクリエーション団体種目 25 大会 10,965 名

エ 県小体連地区スポーツ大会 101 大会 184,663 名  
オ スポーツフェスティバル 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止  
総計 496 大会 大会参加者総数 388,541 名

※上記、大会数並びに参加者数は、年度当初の計画。新型コロナウイルス感染症予防対策等を考慮しての開催となるため、実施数の詳細は不明。

〔経 費〕 支払助成金：実行委員会経費の負担(150,000 円)

## (2) 埼玉県駅伝競走大会

「埼玉県駅伝競走大会実行委員会」

埼玉県・埼玉県教育委員会・公益財団法人埼玉県スポーツ協会・一般財団法人埼玉県陸上競技協会・埼玉県学校体育協会・読売新聞東京本社さいたま支局・さいたま市・上尾市教育委員会・桶川市教育委員会・北本市教育委員会・鴻巣市・鴻巣市教育委員会・行田市教育委員会・熊谷市・熊谷市教育委員会

ア 第5・6部(中学生：兼全国中学校駅伝大会予選)

〔実施期日〕 令和2年11月7日(土)

〔実施会場〕 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場及び特設周回コース

〔参加者〕 5部 中学校男子 45チーム(6区 18.26km)

6部 中学校女子 45チーム(6区 12.26km)

イ 第1～4部 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

## 6 「県民スポーツの日」及び「県民の日」への支援

(1) 「県民スポーツの日」(6月第1日曜日)・「県民の日」(11月14日)、公益財団法人埼玉県スポーツ協会創立記念日(2月26日)にスポーツ総合センターのトレーニング場を無料開放。

(2) トレーニング相談の実施

## 7 スポーツ活動の支援事業の充実

(1) 秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(2) スポーツ活動助成事業

【事業内容】 本会加盟団体等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図る。

ア サイニチホールディングス杯第5回彩の国 Spring フィギュアスケート競技会  
新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

イ サイニチホールディングス杯埼玉県室内選手権水泳競技会

〔実施期日〕 令和3年2月23日(火)・28日(日)

〔実施会場〕 セントポールズ・アクアティックセンター

※無観客・動画配信

〔参加者数〕 74クラブ 729名(選手)

〔経 費〕 支払助成金 2,000,000 円(一般寄付充当)

ウ スポーツ活動(環境整備)支援事業

【内容】 スポーツ活動に必要な不可欠な競技用器具機材等の調達や活動する場所の

確保などスポーツ環境の整備を行うことに助成する。

エ アイスホッケージュニア(中学生)育成事業(アイスホッケー連盟への助成事業)

〔実施期間〕 毎月第4金曜日 21時から22時30分

【実施会場】 埼玉アイスアリーナ

オ 女子アイスホッケー普及・育成事業

〔実施期日〕 毎月水曜夜2回、土日朝2回 計4回

〔対 象〕 県内在住・在学の女子、または県アイスホッケー連盟普及事業参加者で、埼玉選抜等で活動した者。

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

## 8 スポーツ関係団体運営補助事業の実施

県民のスポーツ活動の窓口となる市町村体育・スポーツ協会及び県を単位とする競技団体に対して、その活動が円滑に行われるように各団体の運営費を補助した。

(1) 本会加盟団体運営補助事業

〔補助金額〕 市町村体育協会・スポーツ協会：40,000円+1月1日推計人口×1.5円  
(千円以下切り捨て)

(2) 本会加盟競技団体運営補助事業

競技団体：一律150,000円

(3) 学校体育団体等補助事業

〔事業内容〕 本会の他に県を単位とするスポーツ関連の統括団体の県費補助金を取り纏めて手続きをすることにより、円滑な要求活動と事務の効率化を図った。

〔取扱い団体〕 埼玉県学校体育協会・埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県中学校体育連盟・埼玉県女子体育連盟・埼玉県小学校体育連盟・特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会・埼玉県スポーツ推進委員協議会、7団体

## 9 顕彰事業

(1) 埼玉県スポーツ賞

〔事業内容〕 埼玉県の体育・スポーツの振興・発展に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、埼玉県スポーツ賞を贈りその栄誉をたたえた。

また、本年度は「受賞候補者エントリー」システムを導入し、各団体への事務軽減化を図った。

〔表彰の種類〕

功労賞：長年にわたり体育・スポーツの指導に精通し、著しい功績をあげ、他の者の模範である者で、地域の体育・スポーツの普及・発展に寄与した者。

優秀選手賞：一般及び中学生・高校生(またはチーム)が、オリンピック大会・国際大会及び全国大会等で優勝した者(またはチーム)と3位まで入賞した者(またはチーム)

栄光賞：国際競技会・国内競技会において、特に傑出した競技成績を収めたチー

ム・団体(栄光旗)と個人(栄光楯)

会長特別賞：世界大会等で日本を代表し、特に顕著な活躍をした本県所属及び本県ゆかりで本会加盟競技団体が認めた者、また選考委員会が認めた者。

奨励賞：埼玉県内の小学校に在籍する児童で、公益財団法人日本スポーツ協会加盟の中央競技団体が主催する全国的競技大会に出場し優勝した者並びに、国際連盟が主催する国際大会で8位までに入賞した者。

[実施時期] 令和3年3月26日(金)

[実施会場] ラフレさいたま

※新型コロナウイルス感染症予防対策により、式典は中止としたが、一部受賞代表への授与を臨時評議員会時に挙行

[受賞者] 受賞者総数：12団体(204名) 個人172名 合計376名

ア 功労者表彰

競技団体・学校体育団体等 30名

市町村体育・スポーツ協会 47名 功労賞総数 77名

イ 優秀選手賞

国際大会 優勝 個人 0名

準優勝 個人 1名

三位・入賞 個人 1名

全国大会 優勝 8団体(113名) 個人 42名

準優勝 2団体(31名) 個人 16名

三位 2団体(60名) 個人 22名

日本新記録 個人 3名

奨励賞 個人 9名

ウ 栄光賞

栄光楯 三輪 颯太(西武学園文理高等学校：陸上)

宮本 昌典(東京国際大学：ウエイトリフティング)

小久保真旺(星槎国際高等学校：フェンシング)

自衛隊体育学校近代五種班(自衛隊体育学校・近代五種)

エ 会長特別賞 大栄翔 勇人(大相撲 令和3年1月場所 幕内優勝)

オ 奨励賞 山本 颯人 上尾市立富士見小学校：水泳

西上 諒 上尾市立大石小学校：水泳

村山 椋大 上尾市立上平北小学校：水泳

徳野 楓大 伊奈町立小針北小学校：水泳

松本 輝希 鴻巣市立常光小学校：水泳

小川 翔慎 埼玉大学教育学部附属小学校：水泳

油井 美波 伊奈町立小室小学校：水泳

古川 音和 川口市立幸町小学校：レスリング

田中 蒼悟 三郷市立彦成小学校：レスリング

[費用] 賞状・額・栄光旗・栄光楯・会長特別賞トロフィー制作代等



## (2) 体育優良児童・生徒表彰

〔事業内容〕 県内の小・中・高校の卒業予定の児童・生徒で、よく体育・スポーツを理解・愛好し、平素、熱心にこれらを実践している者のうち、特に健康状態・運動能力・スポーツマンシップに秀いで学業成績良好にして体育的地域より全校の模範となる者を表彰した。

〔実施会場〕 各学校の施設。

〔実施時期〕 表彰式は、原則、卒業式で行うこと。

〔被表彰者数〕 表彰者数	男子	女子	合計(学校数)
市町村立・国立・私立小学校	635名	608名	1,243名(649校)
市町村立・県立・国立・私立中学校	413名	422名	835名(428校)
国立・県立・市立・私立高校・特別支援学校	217名	194名	411名(223校)
合計	1,265名	1,224名	2,489名(1,300校)

〔経費〕 賞状及び副賞(大野元裕会長の揮毫いりフォトスタンド)

## (3) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣)【所属団体】

※本会関係者・団体

### ア 生涯スポーツ功労者

帆足 光代 氏【埼玉県なぎなた連盟】

根岸 一雄 氏【公益財団法人埼玉県剣道連盟】

吉形 道彦 氏【深谷市空手道連盟】

### イ 生涯スポーツ優良団体

スポーツクラブ

特定非営利活動法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポ【杉戸町】

特定非営利活動法人川口戸塚総合型地域スポーツクラブ

どりーむらいふ【川口市】

スポーツクラブ以外

該当無し

## 10 広報・普及活動事業

スポーツ活動の普及・振興のため作成した本会キャッチフレーズ「まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役」の活用や「スポーツ埼玉」の発刊、ホームページからの情報発信、懸垂幕の活用などを行った。

### (1) 「スポーツ埼玉」誌の発刊

〔事業概要〕 本会広報誌「スポーツ埼玉」は、本県が取り組んでいるスポーツ施策や本会が行った講演やシンポジウムなどを掲載する他、国民体育大会埼玉県選手団の活躍(及び成績)、県内の指導者が進める本、本県の体育・スポーツの発展に人生を捧げた偉人などの紹介と多岐にわたるスポーツ情報の発信をしました。

〔発刊及び作成部数〕 年3回 (No288・No289・No290) 各11,000部

〔主な配布場所〕 県歯科医師会会員(県内歯科医院)、県理容組合加盟店、県内ゴルフ練習場、県健康スポーツ医会会員、県内金融機関(埼玉りそな・武蔵

野・埼玉縣信用金庫・J Aバンク・埼玉) 県内各店舗、県内小中高校及び大学、県内公共スポーツ施設、本会にご支援頂いている企業、総合型地域スポーツクラブ、県内公共図書館 等

〔費用〕 購入代金等：無料 印刷製本費、通信運搬費

(2) IT 及びホームページの活用と充実

ホームページを活用し、ブログ式による各種情報の提供をはじめ、スポーツ大会やスポーツ活動を撮影した写真提供などの充実を図った。

〔費用〕 サーバー管理料(及び一部更新料)

(3) キャッチフレーズの活用

ア 各種諸事業での横断幕の活用

- ・スポーツ総合センターロビーに掲示
- ・埼玉県駅伝競走大会(陸上競技場)に掲示

イ 封筒への刷り込み

ウ スポーツ少年団種目別大会等での明記(掲示)

- ・全ての実施要項等に明記

(4) 懸垂幕の活用

〔主な掲示物〕

- ・スポーツ総合センターの掲示
- ・キャッチフレーズ(まず参加のしくスポーツみんなが主役)の掲示
- ・埼玉アイスアリーナに関する掲示
- ・スポーツ安全協会に関する掲示
- ・北関東総体 2020 に関する掲示

〔費用〕 懸垂幕作成代

## 11 埼玉県立武道館の指定管理

(1) 株式会社サイオーとの共同事業体により、県民サービスの向上と日本古来のスポーツである武道の普及・振興を図った。

(2) 県立武道館の主催事業について協力・支援を行なった。

〔事業内容〕 利用率の向上と、スポーツへの親しみや地域との連携を醸成するため、自主事業の活動を支援した。

ア スポーツフェア 2020 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

イ 新春初稽古会

〔実施時期〕 令和3年1月4日(月)

〔実施会場〕 埼玉県立武道館(全館)

〔参加者〕 2 武道団体 152 名(武道館教室生)

ウ 県立武道館「青少年空手道組手講習会」

〔実施期日〕 令和2年10月24日(土)

〔実施会場〕 埼玉県立武道館 〔参加者〕 250 名

エ 県立武道館「青少年柔道講習会」

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

## 12 スポーツ活動の安全管理

### (1) 体育・スポーツ協会主催行事にかかる賠償責任保険制度の活用

〔事業概要〕年々、スポーツ傷害やスポーツ事故が増えている中、主催者に対する事故等への賠償責任を問われる判例がでてきており、そうした中、県民のスポーツ活動と市町村体育・スポーツ協会の運営をも安心して取り組める環境を整えるため、本会および本会加盟市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体で加入した。

なお、競技団体が主催する大会は、本会または市町村体育・スポーツ協会と共催することで対象となる。

また、令和2年度は該当する事故はなかった。

#### 〔保険の概要〕

1. 契約者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会
2. 被保険者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会ならびに各郡市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体
3. 保険期間：一年間(令和2年4月1日午後4時～令和3年4月1日午後4時まで)
4. 補償内容：対人対物共通てん補限度額：1事故5億円  
免責金額：50万円
5. 保険金支払の主な場合
  - ・落雷が予想される中、競技を継続したため、発生した落雷により参加者が死傷した。
  - ・イベントの観客を観客席に誘導するミスにより、観客が将棋倒しになり、観客にけが人が発生した。
  - ・イベント中に事故が発生したが、主催者側の過失によりイベントの中断・救助活動が遅れたため、参加者が死傷した。
  - ・大会会場の施設に明らかな破損が認められていたにも関わらず、イベントを強行実施したため参加者が死傷した。

### (2) スポーツ傷害保険の活用

総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にスポーツ安全協会(傷害保険)の活用を呼びかけ、安心したスポーツ活動の推進を図った。

〔主な取組み〕総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に説明等を行ない、スポーツ少年団では、専門委員会での検討を重ね、指導者現地研修会や種目別代表者会議など指導者が多く集まる会議等でスポーツ傷害保険の活用を呼びかけた。

### (3) リスクマネジメントに係る研修会の促進

総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にリスクマネジメントに係る研修会を行い、安心したスポーツ活動の推進を図った。

〔主な取組み〕総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に指導・助言を行ない、スポーツ少年団では、認定員養成講習会・認定員研修会等でのカリキュラムとして行ない、スポーツ活動に携わる関係者に対し、リスクマネジメントの大切さを呼びかけた。

### 13 指定寄付・賛助会員制度の推進

#### (1) 一般寄付

〔事業内容〕 本会、加盟団体、総合型地域スポーツクラブ創設支援クラブ等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図った。

- ・法人 3 団体(計 3 回)

株式会社サイニチホールディングス・大蔵屋商事株式会社・埼玉県信用金庫協会

#### (2) 賛助会制度の充実

〔事業内容〕 次代を担うジュニア・ユース年代のスポーツ活動の充実は、活力溢れる郷土埼玉や「スポーツ王国埼玉」づくりに最も重要かつ不可欠と確信し、より充実した事業の展開を図るため、本趣旨にご賛同くださる方々を募った。

- ・法人 47 団体

※団体名は令和 3 年 3 月 31 日現在

株式会社埼玉スポーツ・一般財団法人埼玉陸上競技協会・名鉄観光サービス(株)さいたま支店・株式会社埼玉新聞社・埼玉県ソフトテニス連盟・学校法人稲穂学園いなほ幼稚園・大蔵屋商事株式会社・学校法人後藤学園武蔵丘短期大学・吉見町スポーツ協会・埼玉県なぎなた連盟・公益財団法人埼玉県剣道連盟・一般社団法人埼玉県バスケットボール協会・埼玉県野球連盟・埼玉縣信用金庫・公益財団法人草加市スポーツ協会・白岡市体育協会・株式会社アールはっとりはりきゅう接骨院・北本市スポーツ協会・滑川町スポーツ協会・ときがわ町スポーツ協会・公益財団法人川口市スポーツ協会・株式会社丸幸・埼玉県テニス協会・埼玉県近代五種バイアスロン連合・嵐山町スポーツ協会・深谷市体育協会・埼玉県グラウンド・ゴルフ協会・埼玉県クレ射撃協会・公益財団法人熊谷市体育協会・埼玉県弓道連盟・東松山市スポーツ協会・株式会社武蔵野銀行・戸田市体育協会・小川町スポーツ協会・埼玉県柔道連盟・埼玉県ゴルフ協会・三郷市体育協会・公益財団法人新座市スポーツ協会・埼玉県空手道連盟・公益財団法人さいたま市スポーツ協会・株式会社サイオー・株式会社サイニチホールディングス・川島町スポーツ協会・匿名希望法人 4

- ・個人 67 名

野中常七郎・和泉 洋・前之園晴廣・北 清治・三戸一嘉・河本 弘・福田和仁・岩上俊哉・加賀谷貴彦・村山和弘・田中靖男・小原征男・田中 稔・堀口信孝・高橋順一・永井一博・小林伸子・保科征男・青葉元由紀・棚沢絹江・上羅 廣・森田進一・小山吉男・山下誠二・松原 誠・中田次夫・石田明男・中山和義・田村和夫・藤沼貞夫・岩崎文雄・大保木輝雄・新井 彰・小林正幸・小林悠斗・小林柊吾・宮内孝知・石倉昭一・足立 達・帆足光代・帆足和之・野口英夫・小原敏彦・本橋民夫・今中隆雄・永嶋龍次・岡田謙司・中田善雄・内田秀男・油井正幸・尾崎 豊・青葉昌幸・山下 實・柿原順子・増田 優・数野裕之・岡野進一・小川 貴・遠井学・久保正美・宮下達也・林 一夫・堀部武男・藤本泰宏・匿名希望者 2

### 14 スポーツ教室の開催

〔事業内容〕 埼玉アイスアリーナを活用し、氷上スポーツの普及と強化を図る。

#### (1) アイスホッケー体験教室

〔実施期日〕 令和 2 年 7 月 25 日(土)・26 日(日)・9 月 26 日(土)・27 日(日)・

11月21日(土)

計5回

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

〔参加者数〕 延べ83名

〔受取参加料〕 無料

(2) 団体利用者スケート教室

〔参加者数〕 0事業

(3) 体験教室(校外教室)

〔実施期日〕 令和2年10月～令和3年3月

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

〔参加者数〕 5校21教室延べ2,955名

〔受取参加料〕 無料 ※滑走料は受益者負担

(4) スポーツ活動継続事業 (公益1 1-(カ)同事業)

ア 子どもの運動不足解消のための運動機会創出プラン

アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を活用した運動遊び促進事業

〔事業内容〕 日本スポーツ協会が推進するアクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を活用し、運動遊びを促進し、身体を動かすことの楽しさを体験する機会を提供した。

〔実施時期〕 令和2年8月12日(水)～12月18日(金)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター 他

〔参加者数〕 公益財団法人埼玉県スポーツ協会 7事業 延べ1,771名  
埼玉県ライフル射撃協会 1事業 延べ 47名  
さいたま市ソフトボール協会 1事業 延べ 60名  
公益財団法人草加市スポーツ協会 6事業 延べ 240名

〔経 費〕 公益財団法人日本スポーツ協会委託金

【事業実施のための財源】

各事業の受取参加料は、無料または受益者負担の実費や相当額であり事業収益はありませんので、基本財産等の運用益、県費補助金等の補助金収入、加盟団体からの負担金収入、寄付金等を財源としています。

【事業に必要な主な資産】

本事業を実施するために、埼玉県から無償貸付のスポーツ総合センター各施設及び本会所有の体育関係の測定機器(体力測定)が必要となります。

## 公益2 競技力向上事業

### ◆競技力向上事業

#### 1 国民体育大会

(1) 埼玉県予選会の実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・規模縮小

(2) 関東ブロック大会選手団の編成及び派遣

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためアイスホッケー競技のみ派遣)

〔事業内容〕各競技の予選会を経て選ばれた選手で選手団を編成し、第75回国民体育大会・第76回国民体育大会冬季大会関東ブロック大会に派遣をした。

〔競技会場〕神奈川県

〔実施期日〕令和2年12月(各競技により日程が異なる)

〔派遣人数〕1競技 監督・選手50名

(3) 第75回国民体育大会<陸上競技含む37競技>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期

(4) 第76回国民体育大会

ア スケート・アイスホッケー競技会

〔競技会場〕愛知県名古屋市、長久手市、豊橋市、岐阜県恵那市

〔実施期日〕令和3年1月27日(水)～1月31日(日)

〔参加人数〕役員・監督・選手79名

イ スキー競技会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(5) 第75回国民体育大会表彰式 (第75回国民体育大会冬季競技のみで実施)

〔実施期日〕令和2年12月17日(木)

〔実施会場〕埼玉アイスアリーナ

〔参加者数〕第75回国民体育大会入賞者及びその関係団体・関係者約30名

〔成績〕競技別天皇杯獲得団体(0競技団体)

入賞者数：団体 2団体 個人 3名

団体	第1位	0団体	第2位	1団体	第3位	0団体
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

	第4位	1団体	第5位	0団体	第6位	0団体
--	-----	-----	-----	-----	-----	-----

	第7位	0団体	第8位	0団体		
--	-----	-----	-----	-----	--	--

個人	第1位	0名	第2位	1名	第3位	0名
----	-----	----	-----	----	-----	----

	第4位	2名	第5位	0名	第6位	0名
--	-----	----	-----	----	-----	----

	第7位	0名	第8位	0名		
--	-----	----	-----	----	--	--

(6) 国民体育大会功労賞特別表彰(公益財団法人日本スポーツ協会)

令和2年度 本県該当者無

#### 2 第1期強化訓練事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕国民体育大会での活躍を期するため、次の強化事業について助成(補助)した。

〔助成対象経費〕合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品費・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。

〔助成団体〕 37 競技(陸上競技・水泳・サッカー・テニス・ボート・ホッケー・ボクシング・バレーボール・体操・バスケットボール・レスリング・セーリング・ウエイトリフティング・ハンドボール・自転車・ソフトテニス・卓球・野球・相撲・馬術・フェンシング・柔道・ソフトボール・バドミントン・弓道・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・山岳・カヌー・アーチェリー・空手道・クレ射撃・なぎなた・ボウリング・ゴルフ・トライアスロン) 約 1,500 名

〔助成金額〕 38,534,895 円

〔助成事業の対象期間〕 競技団体毎に 7 月から 3 月の祝祭日を中心に実施。

〔助成事業の開催場所〕 当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

### 3 第 2 期強化訓練事業〔助成(補助)事業〕 本大会延期のため助成なし

## 4 スポーツ環境整備事業

### (1) 冬季競技重点施策〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 強化訓練会場(施設)の無い冬季競技に対し、強化訓練に不可欠なスポーツ活動の会場を確保し強化を図った。

〔助成対象経費〕 合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品費・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲で補助。

〔助成金額〕 補助金の算出は、エントリー数と実績や活躍度を数値化し、予算の範囲内で配分しています。

〔助成団体〕 冬季 3 競技(スケート・アイスホッケー・スキー) 約 120 名

〔助成事業の対象期間〕 各競技団体毎に 4 月から翌年 3 月の祝祭日を中心に実施。

〔助成事業の開催場所〕

スケート：埼玉アイスアリーナ、軽井沢スケートリンク、Mウエーブ 他

アイスホッケー：埼玉アイスアリーナ

スキー：菅平高原スキー場、八幡平スキー場 他

### (2) 競技用器具機材等の整備

シンセティックアイスタイル、シングルスカル(M1×)DF-1×M・規格艇(装備品含)

〔助成金額〕 9,468,080 円

## 5 支援スタッフサポート事業 本大会延期のため冬季大会のみ派遣

### (1) 医学サポートスタッフ派遣事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 国民体育大会に出場するチームに、スポーツドクターやトレーナーを帯同させる費用を助成(補助)致し、次のことを行なった。

ア スポーツを行う上で課題となってきたドーピングコントロールとスポーツ傷害の防止に努めた。

イ 誤飲によるドーピングの防止や啓発に努めるとともに、スポーツ傷害の処置並びにメンタル的サポートを行なった。

〔助成対象経費〕 派遣(帯同)にかかる、交通費、宿泊費。

〔助成対象者〕 競技名：派遣対象候補者で、競技団体から申告のあった者の中から本会会長が決定。

## (2) 競技別支援スタッフの派遣

〔助成内容〕 国民体育大会において本県選手団が安心して競技会に臨める環境を整えるため、競技団体から推薦されたコーチやアタッシュなどを、埼玉県選手団の支援スタッフに委嘱し、派遣にかかる費用を助成(補助)した。

〔助成対象経費〕 派遣にかかる旅費交通費の一部を補助。

〔助成対象者〕 国民体育大会(冬季・本大会)に出場する競技団体から推薦のあった者。各団体1名(但し、活躍が見込める団体は2名まで認める)

ア 会長指名派遣：0 競技0名(本大会0名・冬季大会0名)

イ 支援スタッフ派遣者：1 競技1名(本大会0名・冬季大会1名)

ウ 競技団体負担派遣者： 競技 名(派遣にかかる費用は競技団体負担)

## 6 競技団体指定クラブ強化事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 国民体育大会をはじめ、全国規模の大会や選手権大会などで優秀な成績を収めた選手を輩出しているクラブまたは今後期待されるクラブの選手強化事業に対して助成(補助)した。

〔助成対象経費〕 合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品費・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助した。

〔助成事業の開催期日〕 通年

〔助成事業の開催場所〕 各クラブが利用している施設。

〔助成団体〕 27 競技 56 クラブ(陸上2・水泳9・テニス3・ボート1・ホッケー4・ボクシング1・体操競技3・バスケットボール1・レスリング3・ソフトテニス1・卓球1・野球4・相撲1・馬術5・フェンシング1・柔道1・ソフトボール1・バドミントン1・山岳・スポーツクライミング3・カヌー1・アーチェリー1・なぎなた1・スケート1・アイスホッケー1・スキー1・トライアスロン1) 約700名

〔助成金額〕 3,435,000円

## 7 ジュニア育成補助事業

### (1) 彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業〔助成(補助)事業〕

〔内容〕 県内の将来性の豊かなジュニアアスリートを見だし、その対象の特性や発達段階に応じた定期的・継続的なトレーニング等を実施できる体制を構築することにより、長期的な視点で世界に羽ばたくアスリートの育成拠点の整備を支援した。

〔開催期日〕 概ね月一回で年10回以上。トレーニングは一回あたり2時間を上限とし、一日あたり5時間を超えないものとした。

### (2) 彩の国アスリートアカデミー事業〔助成(補助)事業〕

〔内容〕 世界に羽ばたくトップアスリートを輩出することを目指し、各競技団体と連



携して県内の高い競技水準を有する者に対して、より高水準のトレーニング環境における定期的・継続的なトレーニング等を実施できる体制を構築し、本県アスリートの育成拠点の整備を支援するため彩の国アスリートアカデミーを開催した。

〔対象団体〕 国民体育大会実施競技およびオリンピック大会実施競技のうち本会に加盟する競技団体の中から以下の競技4団体を選定

レスリング、トライアスロン、ボウリング、ライフル射撃

〔実施時期〕 概ね月一回で年10回以上。

### (3) 次世代アスリートの発掘・育成事業

#### ア 彩の国Platinumkids 発掘・育成事業

〔内容〕 高い身体能力を有する小学生年代のアスリート候補を発掘・認定し、県競技団体と共にそれらのアスリートが自己の可能性を最大限に伸ばされる環境を整えつつ、競技団体が優れた資質を有する人材の獲得に資する支援を企図した。

##### (ア) 発掘プログラム

〔募集対象〕 県内小学校4年生ならびに過年度最終選考会に参加した者のうち、本会が参加を認める者

〔募集期間〕 令和2年8月12日から10月28日

〔選考方法〕 第1ステージ 新体力テスト結果による書類選考

第2ステージ 発掘測定会の実技結果による選考

〔発掘測定会〕 1回目 令和2年12月6日(日) 埼玉県立武道館

2回目 令和3年1月24日(日) 埼玉県立武道館

##### (イ) 対象者への研修の実施(育成プログラム)

〔実施期間〕 4月から3月

〔主なプログラム〕 アスリート教育プログラム、運動能力開発プログラム、  
体力測定等 全11回開催(オンライン開催含む)

##### (ウ) パスウェイプログラム

〔実施期間〕 4月から3月のうち競技団体が定める日時・会場

〔主なプログラム〕 競技体験プログラム1 11回 47名

競技体験プログラム2 89回 165名

合計 100回 212名

#### イ 彩の国Platinumjunior 発掘・育成事業

〔内容〕 特定の競技に関わる非凡な能力を有する県内中学生年代のアスリートを新たに発掘・認定し、本県のスポーツ資源を活かしたサポートを通じて、それらのアスリートが自己の可能性に挑戦できる環境を整え、世界を目指して活躍するアスリートの輩出を企図した。

##### (ア) 発掘プログラム

〔募集対象〕 県内小学校6年生、中学1年生、中学2年生

〔募集期間〕 令和2年8月12日から10月28日

〔選考方法〕 第1ステージ 新体力テスト結果による書類選考

第2ステージ 競技団体トライアウトによる選考

〔トライアウト〕 令和2年12月6日(日) 埼玉県立武道館  
令和2年12月20日(日) スポーツ総合センター

(イ) 育成プログラムのモデルプログラム開発

〔実施日〕 令和3年2月21日(日)

〔主なプログラム〕 障害予防プログラム、スポーツ科学教育プログラム、メディカル  
チェック等

(ウ) 専門競技別プログラムのモデルプログラムの開発(パスウェイプログラム)

〔実施日〕 令和2年11月21日

〔対象〕 発掘プログラム第1ステージ通過者

〔主なプログラム〕 競技専門トレーニング

ウ 彩の国Platinum athlete 強化支援事業

〔内容〕 本県の次世代を担うトップアスリート候補者が国内主要大会や国際大会等に  
万全な状態で挑戦できるよう、スポーツ医・科学サポート等を効果的に活用で  
きる体制を整備し、本県からより多くのトップアスリートが持続的に輩出され  
ることを目的に実施した。

(ア) 発掘プログラム

〔趣旨〕 将来、国際大会や国民体育大会で活躍できるトップアスリートを本県から輩  
出するため、令和3年度対象者の選考に関わる情報を収集し、埼玉県へ提供し  
た。

(イ) 競技力向上サポート

〔内容〕

a 彩の国アスリートサポートパートナーシップ制度の構築

各専門家が自身の得意分野を活かしたアスリート支援活動ができる制度を整  
え、本県スポーツ人材の育成と人材確保を促すパートナーシップを構築し、本  
県アスリートが競技力向上に打ち込める環境を整えた。 登録者 全16名

b パートナーによる彩の国アスリート等への専門的サポートの提供

パートナーとの連携を図り、該当選手のニーズに基づいたトレーニングプラ  
ンの作成、メニュー作成支援・提供、研修機会の提供等を実施し、継続的に当  
該選手の育成・強化活動をサポートした。

c その他のサポート

競技力向上に有益なサポート手法を開発・検討を行った。

d 活動経費の助成

当該アスリートの育成・強化活動に関わる経費の一部を助成した。

〔専門家によるサポートの例〕

フィジカルトレーニング指導、けが予防指導、栄養指導、メンタル指導、スポー  
ツ科学支援、アスリートライフスタイル支援、その他

〔実施期間〕 令和2年10月～令和3年3月

## 8 中・高体連育成強化事業の実施〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 中・高校の連携により有望選手の早期発掘と県内定着を図り、世界に羽

ばたく彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会をとおして世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成した。  
 [助成対象経費] 合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助した。  
 [助成事業の開催期日] 7月から3月の祝祭日を中心に実施した。  
 [助成事業の開催場所] 当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等  
 [助成対象団体] 埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県中学校体育連盟  
 [助成金額] 8,600,000円

**[成 績]**

- (1) 令和2年度全国高等学校総合体育大会成績(冬季含む) 冬季大会のみ
- | ◎団体 | 優勝  | 準優勝 | 3・4位 | ベスト8 | 合計  |
|-----|-----|-----|------|------|-----|
| 男子  | 0団体 | 0団体 | 1団体  | 0団体  | 1団体 |
| 女子  | 0団体 | 0団体 | 0団体  | 0団体  | 0団体 |
| ◎個人 | 優勝  | 準優勝 | 3・4位 | ベスト8 | 合計  |
| 男子  | 0名  | 1名  | 1名   | 0名   | 2名  |
| 女子  | 0名  | 0名  | 1名   | 1名   | 2名  |
- (2) 令和2年度全国中学校体育大会成績(冬季含む)  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

**9 埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(資料提供)  
 [事業内容] 埼玉県と連携・協力し、当該年度の国体候補選手、監督、指導者の所属する高等学校長及び中学校体育連盟会長を強化特別委員として委嘱し、選手の練習環境を整え、より一層の競技力向上を図った。

**10 埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議の開催**

- (1) 埼玉県強化コーチ研修会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止  
 (2) 国民体育大会必勝対策会議 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

**11 埼玉スポーツの未来を考えるシンポジウム(旧競技団体長・支援企業等協議会)**

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

**12 埼玉県スポーツ指導者研修会**

- (1) 第1回埼玉県スポーツ指導者研修会(旧ビクトリーサミット)  
 [事業内容] 長年培った選手育成のノウハウとスポーツ科学に基づく競技力向上を図るための研修会を実施する。  
 [実施時期] 令和2年12月5日(土)  
 [実施会場] スポーツ総合センター 講堂・on-line  
 [参加者] 本会加盟団体関係者・本会スポーツ科学委員会関係者・埼玉県スポーツ指導者協議会理事・各市町村スポーツ少年団関係者

スポーツ総合センター 22名・on-line 24名 計 46名  
〔講義内容〕 講義Ⅰ『長期運動休止前後のコンディショニング』  
講師：広瀬 統一 氏(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)  
講義Ⅱ『県ラグビー協会の安全対策』  
～ラグビーワールドカップの医事報告  
および新型コロナウイルス感染対策～  
講師：立花陽明 氏(埼玉医科大学かわごえクリニック)  
講義Ⅲ『サッカー活動再開に向けた 日本サッカー協会の取組み』  
～スポーツドクター(内科)の立場から～  
講師：福島理文 氏(順天堂大学医学部循環器内科)

(2) 第2回埼玉県スポーツ指導者研修会  
新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

### 13 競技別義務研修〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 埼玉県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者で組織する、埼玉県スポーツ指導者と連携し、協議会登録指導者を対象に、競技特性に応じた日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の義務研修を開催開催するための費用を助成(補助)しました。

〔助成対象経費〕 研修会にかかる講師謝金・会場借上げ料・通信運搬費

〔助成金額〕 定額 50,000 円

〔助成団体〕 埼玉県スポーツ指導者協議会の指導者協議会 8 団体 8 コース

〔参加者総数〕 285 名

### 14 国際競技派遣事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 本県競技団体所属の選手が、日本を代表して国際大会に出場する際の経費について、定額補助を行った。

〔助成金額〕 一人 10,000 円(オリンピック競技会出場者は 20,000 円)

〔助成対象〕 申請者無

### 15 埼玉県選手強化対策委員会要覧及びコーチのしおりの作成

〔事業内容〕 国民体育大会本大会の強化事業に係わる、埼玉県選手強化基本方針や第75回国民体育大会強化基本計画等を取り纏めた。また、国民体育大会本大会終了後には、今後の強化事業に役立てるため、大会の成果(成績)や結果を分析したデータを取り纏めた。

(1) 選手強化対策委員会要覧

〔発刊時期〕 令和2年7月

〔配布先〕 47 競技団体及び教育関係機関

〔費用〕 印刷製本費

(2) スポーツ科学委員会会報

〔発刊時期〕 令和2年9月

- 〔配布先〕 加盟団体・科学委員会委員  
〔費用〕 印刷製本費  
(3) コーチのしおり 国体延期のため発行を見送り

## 16 スポーツ科学研究事業

(内容) スポーツを医学的・科学的・コーチング・アンチ・ドーピングの見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進と生涯スポーツの振興を図った。

### (1) アンチ・ドーピング教育啓発事業

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

### (2) スポーツ医・科学相談事業(旧 Platinumkids メディカルチェック・体力測定)

〔実施内容〕 Platinumkids(修了生含む)に対して、相談事業を実施した

〔実施時期〕 令和2年10月18日、11月15日、12月6日

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者〕 17名

### (3) 国体選手(彩の国アスリート)の健康管理事業

〔実施時期〕 配布：令和2年12月 回収：令和3年1月(候補選手確定まで)

〔実施会場〕 国民体育大会埼玉県選手候補の問診票：本会で回収、ドクター及び薬剤師が所見

〔参加者〕 国民体育大会埼玉県選手候補(冬季競技のみ)

〔経費〕 無料

### (4) 国民体育大会帯同ドクター派遣

〔事業内容〕 ドーピングコントロールとスポーツ障害の防止を図るため、スポーツドクターを本部役員として選手団に帯同させ、ドーピングの防止に努めた。

また、選手・監督の要請を受け、スポーツ傷害の防止並びにメンタル的サポートを行なった。

※帯同ドクターは、日本スポーツ協会が定めた選手団編成基準の役員に位置付けられている。

〔実施時期〕 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止(会期前：水泳競技他)

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止(本大会：陸上競技他)

令和3年1月27日(水)～31日(日)(スケート・アイスホッケー競技)

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止(スキー競技)

〔実施会場〕 第76回国民体育大会：冬季大会 愛知県・岐阜県・秋田県

〔参加者〕 第76回国民体育大会：冬季大会 1名

〔経費〕 ドクターの派遣にかかる旅費交通費、謝金

### (5) 研修会・講習会の開催

ア トレーナー研修会の開催

(ア) 第1回 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(イ) 第2回 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

イ コーチングセミナー

※新型コロナウイルス感染症予防対策により開催を見送り、研修用動画を制作中。

## 公益3 スポーツ少年団事業

### 1 令和2年度埼玉県スポーツ少年団登録状況

(1) 団数	更新	1,517 団	新規	13 団	合計	1,530 団
(2) 指導者	更新	11,758 名	新規	737 名	合計	12,495 名
(3) 役員・スタッフ	更新	2,483 名	新規	1,129 名	合計	3,612 名
(4) 団員	男子	29,257 名	女子	9,896 名	合計	39,153 名

### 2 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

#### (1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催

〔事業内容〕日々のスポーツ活動で学んだルールや技術、それらを習得する過程で得られるマナーやモラルを実践する場を作るとともに、合せて子ども達の指導にあたる者たちの資質の向上を図った。

##### ア 軟式野球

第39回夏季小学生軟式野球交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第45回小学生軟式野球交流大会

〔実施時期〕令和3年9月27日(日)・10月4日(日)・18日(日)・25日(日)

〔実施会場〕埼玉県営大宮公園野球場 他

〔参加団数〕345 団

第43回中学生軟式野球交流大会

〔実施時期〕令和2年7月24日(金)・8月2日(日)

〔実施会場〕川通公園野球場

〔参加団数〕17 団

第16回女子団員交流大会

〔実施時期〕令和2年11月22日(日)・23日(月)

〔実施会場〕加須きずなスタジアム 他

〔参加団数〕12 団

##### イ サッカー

第49回埼玉県サッカー少年団大会

〔実施時期〕令和3年1月17日(日)・24日(日)・2月7日(日)

〔実施会場〕埼玉スタジアム2002(第2、第3グラウンド)他

〔参加団数〕409 団

第5回埼玉県スポーツ少年団U-10 サッカー大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

##### ウ バasketボール

第38回ミニバスケットボール交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第19回ジュニアリーダーバスケットボール交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

エ バレーボール

第39回関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会埼玉県大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第15回埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第17回埼玉県スポーツ少年団中学生交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第44回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会埼玉県決勝大会

〔実施期日〕 令和2年12月11日(日)・12日(土)

〔実施会場〕 北本市体育センター他

〔参加団数〕 127 団

第8回埼玉県スポーツ少年団混合大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

オ 剣道

第44回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第43回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

カ ソフトボール

第43回ソフトボール中央大会

〔実施期日〕 男子：令和2年11月3日(水)

女子：令和2年11月8日(月)

〔実施会場〕 男子：さいたま市 荒川総合運動公園グラウンド

女子：北本市総合公園多目的広場 他

〔参加団数〕 34 団

キ 空手道

第36回空手道交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

ク 柔道

第42回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

ケ バドミントン

第38回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(団体戦)

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第27回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(ダブルス大会)

〔実施期日〕 令和3年3月27日(土)

〔実施会場〕 アスカル幸手

〔参加団数〕 15 団

コ ソフトテニス

第41回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会

- 小学生の部 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- 中学生の部 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- 第7回交流団体戦 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- サ 複 合
- 第40回複合種目大会 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

#### シ 駅 伝

- 第38回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会
- 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

#### ス 体 操

- 第10回埼玉県スポーツ少年団体操競技交流大会
- 〔実施期日〕 令和2年11月23日(火)
- 〔実施会場〕 越谷市立総合体育館
- 〔参加団数〕 10 団

- (2)東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業
- 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

### 3 第47回日独スポーツ少年団同時交流事業

- (1)派遣事業 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- (2)受入事業 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

### 4 指導者養成・研修事業

- (1)スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

- ア 県本部直接開催 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- イ 市町村開催コース 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

- (2)スタートコーチインストラクター移行研修会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

- ア 日本スポーツ少年団開催への派遣
- イ 埼玉県スポーツ少年団開催事業

〔事業内容〕 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡散防止の観点により、スタートコーチ(スポーツ少年団)の養成講習会が中止となり、「スポーツ少年団の理念や組織について」を学ぶ場の確保が難しくなった。そこで、令和2年度埼玉県スポーツ少年団に登録した者を対象とし、スポーツ少年団での指導や団運営に携わる上で必要なことを学ぶ機会を確保することを目的として実施した。

〔実施期日〕 令和2年10月25日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者〕 34名

- (3)登録指導者研修会〔助成(補助)事業〕

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

- (4)母集団研修会〔助成(補助)事業〕



〔事業内容〕 埼玉県スポーツ少年団では、スポーツ少年団活動を支援・協力するため、1少年団に1育成母集団の結成を目指し、母集団(員)の中核的推進者を集めて育成研修事業の実施を助成(補助)した。

〔実施時期〕 令和2年4月1日～令和3年3月31日

〔実施会場〕 2市町2コース

〔参加対象者〕 延べ137名

〔受取参加料〕 原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

〔支払補助金〕 1コース50,000円

(事業規模80,000円以上・市町村負担30,000円以上)

(5) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会

〔事業内容〕 県内の市町村スポーツ少年団種目別指導者の代表者が一堂に会し、今日的テーマの研修を行うとともに、種目別大会の運営方法について協議、情報交換をしてスポーツ少年団の健全な育成を図りました。

〔実施時期〕 令和3年1月30日(土)

〔実施会場〕 オンラインで実施

〔参加者〕 38名

〔受取参加料〕 無料

(6) 研究大会等派遣

ア ジュニアスポーツフォーラム派遣

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

イ 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会派遣

〔事業内容〕 関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方法等について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するために開催される研究協議会に関係者を派遣し、今後の少年団活動に役立てることが出来た。

〔実施時期〕 令和2年11月6日(金)

〔実施会場〕 ホテルおかだ(神奈川県) 本県はオンラインでの参加

〔参加者〕 3名

※関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会は関東各都県輪番制(8年毎に開催)

## 5 リーダー養成・研修事業

(1) シニア・リーダースクール派遣 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(2) ジュニアリーダースクールの開講

ア ジュニアリーダースクール(県本部開催)

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

イ ジュニア・リーダースクール補助事業(助成(補助)事業)

〔事業内容〕 日頃のスポーツ少年団活動をしている小学生を対象に、将来ジュニア・リーダーを目指す団員を養成する。

〔実施会場〕 1市町1コース

〔参加人数〕 4名

〔受取参加料〕 なし（市町本部の受取参加料）

〔支払補助金〕 50,000 円（総額 100,000 円、市町村負担金 50,000 円）

(3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(4) 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会開催

〔事業内容〕 関東ブロック内スポーツ少年団リーダーの相互研修を通し、各都県及び市区町村リーダー会の充実・強化及びリーダー会の設置を促進するため、各都県スポーツ少年団リーダー代表によるブロック内の研究大会に派遣しました。

〔実施期日〕 令和3年2月20日(土)

〔実施会場〕 オンライン開催（主管 山梨県）

〔参加者〕 本県からの参加者は無し

(5) 埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成(運営費補助)

〔事業内容〕 埼玉県スポーツ少年団リーダー会は、各市町村で活動しているリーダーが持つ共通の課題などの情報交換や、よりよいリーダーになれるよう普段の活動をふりかえり、今後の活動に活かす勉強会や、リーダー相互の親睦を深める交流交歓活動などを支援するため補助を行ないました。

また、埼玉県スポーツ少年団大会やジュニアリーダースクールなど、各種事業への協力も行なっています。

〔支払補助金〕 200,000 円

## 6 地域交流補助事業

〔事業内容〕 日頃、生活圏で行われているスポーツ少年団活動に、子ども達の成長とともに広がる地理的視野の拡大に合せ、他団体や他地域と交流活動をすることで、スポーツ少年団活動の活発化と地域交流の促進を図りました。

〔実施数〕 14 市町 17 事業

〔参加者数〕 8,028 名

〔支払補助金〕 50,000 円（総額：100,000 円 市町村負担 50,000 円以上）

## 7 国内交流大会派遣事業

(1) 全国スポーツ少年団大会 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(2) 関東ブロックスポーツ少年大会 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(4) 全国スポーツ少年団剣道交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(5) 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(6) 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

## 8 埼玉県スポーツ少年団表彰

授賞式は新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔事業内容〕埼玉県及び県内市町村においてスポーツ少年団の育成に尽力している者で、登録指導者として10年以上にわたり活動し、スポーツ少年団の育成に特に顕著な功績があり、認定員の資格を有する者で、今後も引き続き活動が期待できる者を表彰し、指導者の活動意欲を高揚するとともに埼玉県スポーツ少年団の充実・発展を図りました。

〔受賞者〕35市町76名

南部： 7市 29名 西部：12市町 22名

北部： 7市町 11名 東部：9市町 14名

〔経費〕受取参加料：6,500円

## 9 日本スポーツ少年団顕彰

〔受賞者〕団体(本部) 5市町 指導者 9名

## 10 スポーツ少年団「スポーツともだち仲間たち」の発刊

〔事業内容〕県スポーツ少年団で行った事業内容や、調査結果等を集約し、日頃のスポーツ動等への理解を深め、今後の活動に役立てるために情報提供を行なった。

〔発刊時期〕7月・12月・3月

〔配布対象〕市町村63本部及び1,530団(令和元年度登録団数)

〔経費〕印刷製本費・通信運搬費

## 公益4 スポーツ総合センター運営事業

### 1 スポーツ総合センターの管理・運営

#### (1) 施設利用に係る受付業務

体育施設、研修施設、宿泊施設の利用について、年間の利用調整、利用申請の受付、施設使用料の徴収などを行った。

#### (2) 施設設備の維持管理

建物や設備の維持管理を行うとともに、業務委託契約に係る業務進捗状況等の確認を行った。

#### (3) トレーニング場利用者講習会（月2回）

トレーニング場を個人利用するための講習会を行った。

参考 施設利用者数

施設	利用者数	施設	利用者数
体育館	33,905 名	講堂研修室	13,840 名
多目的室	9,346 名	その他	1,502 名
体育実習室	3,875 名	宿泊施設	779 名
トレーニング場	7,678 名		
庭球場	2,673 名	計	73,598 名

## 収益1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営

### 1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営

月	利用者数	本会収益 (15%)
4月	0名	19,965円
5月	0名	
6月	304名	
7月	1,510名	388,950円
8月	2,260名	
9月	3,188名	
10月	4,420名	687,030円
11月	6,112名	
12月	2,960名	
1月	3,608名	747,855円
2月	5,580名	
3月	5,377名	
合計	35,319名	1,843,800円

## 収益2 アイスアリーナの管理運営

本会が事業主体となって、さいたま水上公園内にアイスアリーナを整備し、運営を付した施設の貸出しを行なう事で、公園の機能の増進に資することにより、氷上スポーツの普及・振興と競技力の向上を図った。

月\入場者	一般	校外	団体	定期	教室	クラブ	観覧等	貸切	合計
4月	0	0	0	0	0	300	0	169	469
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	733	0	8	220	0	1,707	0	1,724	4,392
7月	1,852	0	0	300	956	1,869	133	3,067	8,177
8月	3,175	136	592	238	932	2,188	141	3,229	10,631
9月	2,664	0	523	263	969	2,111	93	3,362	9,985
10月	1,102	555	463	311	934	1,919	1,142	3,311	9,737
11月	3,219	201	395	271	964	1,660	76	3,403	10,189
12月	2,417	258	752	365	985	2,045	767	2,800	10,389
1月	2,610	267	868	349	907	2,131	940	2,374	10,446
2月	2,434	1,649	726	289	1,008	2,024	1,241	2,460	11,831
3月	2,684	329	918	405	1,188	2,366	1,215	3,342	12,447
合計	22,890	3,395	5,245	3,011	8,843	20,320	5,748	29,241	98,693

## 法人 県スポーツ協会運営事業

### 1 諸会議

#### (1) 評議員会

定時	令和2年5月29日(火)	書面決議
臨時	令和3年3月26日(金)	ラフレさいたま

#### (2) 理事会

定例第一回	令和2年5月13日(水)	スポーツ総合センター
臨時	令和2年5月29日(金)	書面決議
定例第二回	令和2年9月1日(火)	スポーツ総合センター
定例第三回	令和2年12月16日(水)	書面決議
定例第四回	令和3年3月10日(水)	スポーツ総合センター・オンライン

#### (3) 加盟団体協議会

第一回	令和2年5月15日(金)	スポーツ総合センター
第二回	令和3年3月12日(金)	書面決議

(4)市町村連絡会議 (I-3に掲載)

(5)専門委員会

ア 総務委員会

第一回 令和2年8月25日(火) スポーツ総合センター

第二回 令和2年12月9日(水) スポーツ総合センター

第三回 令和3年3月3日(水) スポーツ総合センター

イ 選手強化対策委員会

(ア)強化対策委員会

第一回 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第二回 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第三回 令和3年1月13日(水) スポーツ総合センター

臨時 令和2年7月14日(火) スポーツ総合センター

(イ)常任委員会

期日：令和2年12月15日(火) スポーツ総合センター

(ウ)競技力向上事業関係諸会議

・第1回選手強化対策委員会及び競技団体強化・経理担当者合同会議

期日：令和2年4月21日(火) 書面開催

・選手強化対策特別委員会

期日：新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

会場：県民健康センター

・第75回国民体育大会埼玉県選手団監督選手選考会議・監督会議

期日：新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

・競技別強化対策会議

期日：令和2年11月30日(月)・12月1日(火)

会場：スポーツ総合センター

・彩の国アスリート育成推進会議

第一回 令和2年5月22日(金) 書面による審議

第二回 令和2年10月9日(金) スポーツ総合センター

第三回 令和3年1月27日(水) 書面による審議

ウ 広報委員会

第一回 令和2年9月9日(水) スポーツ総合センター

エ スポーツ科学委員会

(ア)スポーツ科学委員会

第一回 令和2年7月9日(木) スポーツ総合センター

第二回 中止

(イ)専門部会

・スポーツ科学 2回

・スポーツ医学 2回

・コーチング 2回

・アンチ・ドーピング2回

(7) 諮問委員会

ア 顕彰委員会

- 第一回 令和2年4月22日(水) 書面決議  
第二回 令和3年2月4日(木) スポーツ総合センター

(8) その他

ア スポーツ少年団

(ア) 本部員会

- 第一回 令和2年5月16日(土) 書面決議  
臨時 令和2年6月20日(土) スポーツ総合センター  
第二回 令和2年7月4日(土) スポーツ総合センター  
第三回 令和2年10月14日(土) スポーツ総合センター  
第四回 令和2年12月19日(土) 書面決議  
第五回 令和3年3月23日(火) スポーツ総合センター

(イ) 代議員会

- 令和2年6月20日(土) スポーツ総合センター

(ウ) ブロック本部長会議

- 東部：令和2年11月22日(日) ふれあいセンター久喜(久喜市)  
西部：令和2年11月21日(土) 滑川町コミュニティセンター(滑川町)  
南部：令和2年11月29日(日) フレンジア(川口市)  
北部：令和2年11月28日(土) 神川町役場(神川町)

(エ) スポーツ少年団専門委員会等(on-line 併用)

- ・指導者・リーダー育成委員会 9回
- ・企画広報委員会 8回
- ・活動交流委員会 7回
- ・指導者協議会評議員会 1回
- ・指導者協議会運営委員会 8回
- ・正副委員長会議 4回
- ・倫理委員会 0回
- ・種目別担当者会議 1回
- ・ジュニアリーダースクール 1回

(オ) 市町村スポーツ少年団事務担当者会議

- 期日：令和3年3月19日(金) 会場：スポーツ総合センター・オンライン

イ 埼玉県スポーツ指導者協議会

(ア) 理事会

- 第一回 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止  
第二回 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

ウ スポーツ活動継続サポート事業(スポーツ事業継続支援補助金)

「事業継続・高度化計画」に基づき活動の再開・継続に向け、積極的に取り組むため、日本スポーツ協会の補助金により、オンライン会議を行うための設備を整

えるとともに、本会ホームページからの動画配信をするための設備を整えた。